

名古屋大学≪工学研究科・研究員または特任助教≫公募要領

1	募 集 件 名	研究員または特任助教の公募（航空宇宙工学・流体工学・熱工学、等）
2	募集者の名称	国立大学法人東海国立大学機構
3	所 属	名古屋大学 大学院工学研究科 航空宇宙工学専攻 空力・推進講座 衝撃波・宇宙推進研究グループ
4	募 集 内 容	[背景] 当研究グループでは、宇宙活動の拡大を目指し、液体水素、液体メタン、液体酸素等の極低温液体推進剤の宇宙空間での長期有効利用技術（Cryogenic Fluid Management: CFM）の高度化に関する研究を進めております。 [職務内容（業務内容、担当科目等）] （雇入れ直後） 液体窒素、水等を模擬流体とし、真空チャンバ、落下塔等の既存装置を活用した熱真空試験、低重力環境試験をはじめとする各種研究に取り組んでいただきます。 （変更の範囲） 東海国立大学機構が指定する業務
		[勤務地] （雇入れ直後）名古屋大学 東山キャンパス（愛知県名古屋市千種区不老町） （変更の範囲）東海国立大学機構が指定する就業場所
		[募集人員] 研究員または特任助教・1名
		[着任時期] 2026年7月1日以降のできるだけ早い時期
5	募 集 研 究 分 野	航空宇宙工学、流体工学、熱工学、等
6	勤 務 形 態	常勤（任期付） 契約期間：期間の定めあり（採用日から2027年3月31日まで） 試用期間：あり（採用日から6か月） 契約の更新可能性：有（契約満了時の業務量、勤務成績、態度、能力、法人の経営状況、従事している業務の進捗状況・プロジェクトの継続の有無・予算状況等により判断） 通算契約期間：最長2029年3月31日まで
7	応 募 資 格	[必要な特定分野の資格・条件（学位などを含む）・専門性等の詳細] ・博士の学位を取得した方（着任までに取得見込みを含む）、あるいはそれに準ずる研究の能力と経験を有する方。 ・航空宇宙工学以外の分野からの応募も歓迎いたします。 ・意欲と熱意をお持ちであれば、宇宙工学の専門知識は着任後に習得して頂ければ問題ございません。 ・強い責任感、協調性をもってプロジェクトにあたる方。

8	待 遇	<p>[採用後の待遇（給与、勤務時間、休日、保険等）]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ご自身の専門分野と宇宙工学の融合によるキャリアアップを支援いたします。 ・必要に応じて宇宙推進に関する本学内の研修に参加いただけます。 ・東海国立大学機構職員就業規則の定めるところによる。 https://public1.legalcrud.com/thers_ac/act/110010928.html ・給与は東海国立大学機構名古屋大学年俸制適用職員給与規程において定める年俸制とする。 https://public1.legalcrud.com/thers_ac/act/110000191.html ・専門業務型裁量労働制により、1日7時間45分働いたものとみなされます。 ・休日：土・日曜日、国民の祝日、年末年始（12月29日～1月3日） ・加入保険：文部科学省共済組合、厚生年金、労働者災害補償保険、雇用保険 ・受動喫煙防止措置：原則としてキャンパス内は喫煙禁止
9	応 募 期 間	2026年5月1日～2026年6月30日
10	応 募 ・ 選 考 結 果 通 知 連 絡 先	<p>[応募方法（提出書類の送付先）]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 履歴書（写真添付、連絡先、電子メールアドレス、研究開発歴などを記載） 2. 研究業績リスト（査読論文、口頭発表、受賞、特許など） 3. 着任後の研究開発プロジェクト及びご自身の研究に関する抱負（500字程度） 4. 応募者について照会可能な方1名の氏名・所属・電子メールアドレス <p>以上の書類を、応募期間内（必着）に電子メールにて提出ください。</p> <p>提出先：kiyoshi.kinefuchi@mae.nagoya-u.ac.jp</p> <p>問合せ先：名古屋大学大学院 工学研究科 航空宇宙工学専攻 准教授 杵淵 紀世志（きねふち きよし） 電話：052-789-4413</p> <p>[選考内容（選考方法、採否の決定）]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書類選考の上、オンラインにて面接を実施。 ・面接実施者については、電子メールで連絡を行う。

11	そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> ・名古屋大学は業績（研究業績、教育業績、社会的貢献、人物を含む。）の評価において同等と認められた場合には、女性を積極的に採用します。 ・提出された書類については、本選考以外の目的には使用しません。 ・応募書類は、本選考委員会が責任を持って処分し、返却しません。 ・2021年11月「外国為替及び外国貿易法」（外為法）に基づく「みなし輸出」における管理対象の明確化に伴い、大学・研究機関における教職員への機微技術の提供の一部が外為法の管理対象となりました。これに伴い、本公募に応募の際、「類型該当判断のフローチャート」に基づく「類型該当性の自己申告書」の提出が必要となります。また、採用時には「誓約書」の提出が必要となります。 ・本学では、多様性の推進やワークライフバランスの促進に、積極的に取り組んでいます。詳細については以下の URL をご覧ください。 ジェンダーダイバーシティセンターWeb サイト： https://www.kyodo-sankaku.provost.nagoya-u.ac.jp/ ダイバーシティ、エクイティ、インクルージョン&ビロッキング (Diversity, Equity, Inclusion & Belonging: DEIB) 推進宣言： https://www.thers.ac.jp/about/declaration/deib/index.html ・出産・育児・介護・病気等の理由により、過去に研究活動を中断・遅延した期間があれば、その点を履歴書に記載することができます。本学ではそれを記載したことにより、不当な評価を受けることはありません。
----	-------	--